平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体

平成20年7月30日(水)　　二回戦

Gコート　第1試合　　本庄総合公園体育館 (シルクドーム)

チームA			チームB
佐賀清和 佐 賀	53	13 － 34 13 － 23 8 － 23 19 － 17 －	97	東京成徳 東 京

佐賀清和

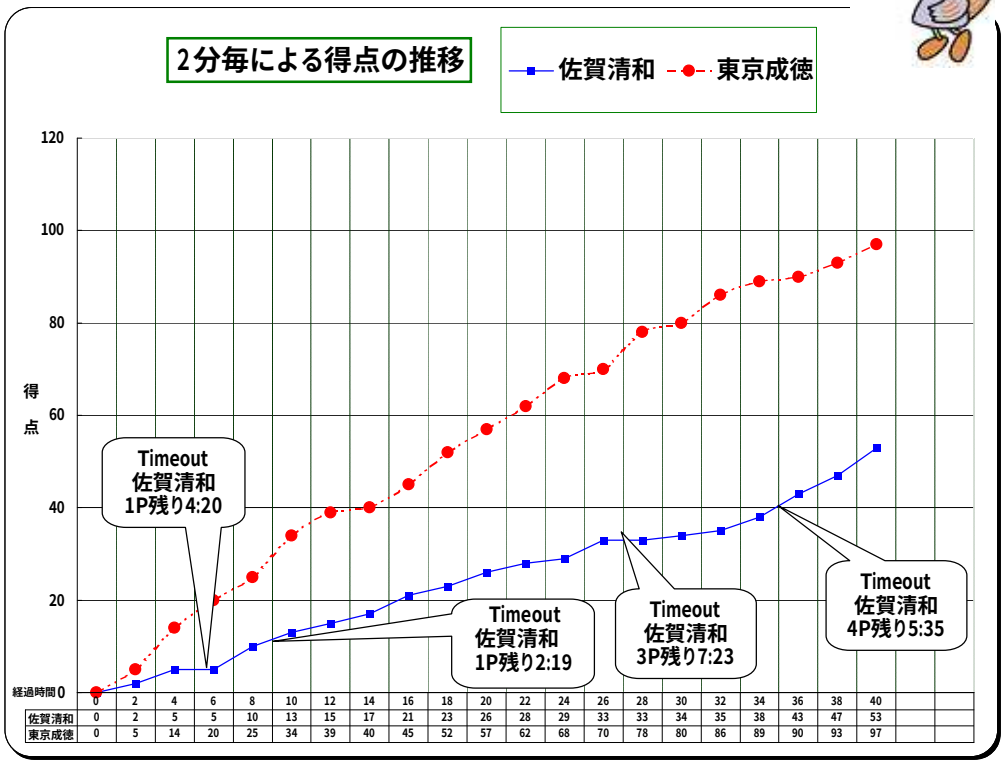
番号	氏名	出場	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	FT 成功	FT 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
4	武藤 唯	X	14	1	5	5	8	1	2	3	0	5	1	2	2	0	38
5	城後 愛	／	5	1	3	1	3	0	0	2	0	1	1	3	0	1	12
6	江頭 歌菜子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
7	村田 香奈	X	11	1	3	4	11	0	2	2	1	2	3	0	0	1	24
8	豊福 咲妃	X	10	0	4	4	16	2	6	3	1	3	4	1	0	1	28
9	内田 美子	／	3	1	5	0	8	0	0	4	0	3	1	0	0	0	23
10	田中 美紀	／	1	0	0	0	3	1	2	0	2	0	0	0	0	0	15
11	片渕 里沙	／	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
12	原 千尋	X	3	0	2	1	6	1	2	5	2	2	1	1	0	1	19
13	執行 真樹	／	6	0	0	1	4	4	6	4	1	3	1	3	0	2	26
14	江頭 美穂		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	諸岡 美紀子	X	0	0	0	0	3	0	0	4	1	1	1	1	0	0	14
コーチ	貞松 義人									0	5	5					
			53	4	22	16	62	9	20	27	13	25	14	12	2		200
			確率	18.2%		25.8%		45.0%			計	38					

出場：×は先発、／は出場

東京成徳

番号	氏名	出場	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	FT 成功	FT 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
4	間宮 佑圭	X	28	0	0	10	13	8	8	1	4	10	0	1	1	2	24
5	宮崎 優子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
6	水野 圭子	／	6	0	0	2	6	2	4	2	4	9	5	2	0	5	16
7	篠原 恵	X	13	0	0	6	9	1	5	1	2	5	0	1	1	0	24
8	金子 実由紀	X	6	2	5	0	2	0	0	0	0	0	3	0	10	0	24
9	山本 千夏	X	7	0	2	2	2	3	4	2	0	8	4	3	5	2	24
10	工藤 安沙子	／	4	0	0	2	6	0	0	2	2	4	2	1	1	0	16
11	野間 星来	／	7	0	0	2	6	3	4	0	4	2	3	0	0	0	16
12	小島 つばさ	／	9	1	3	2	4	2	2	3	1	0	2	0	0	1	14
13	小山 結佳	／	1	0	0	0	3	1	2	1	0	1	1	0	1	0	12
14	小林 麻衣	／	5	1	2	1	4	0	2	1	2	3	1	1	1	0	18
15	森木 乃美	X	11	2	4	2	3	1	2	0	0	1	2	0	1	2	12
コーチ	下坂 須美子									0	0	7					
			97	6	16	29	58	21	33	13	19	50	23	9	21	12	200
			確率	37.5%		50.0%		63.6%			計	69					

出場：×は先発、／は出場



経過時間	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
佐賀清和	0	2	5	5	10	13	15	17	21	23	26	28	29	33	33	34	35	38	43	47	53
東京成徳	0	5	14	20	25	34	39	40	45	52	57	62	68	70	78	80	86	89	90	93	97

戦評

3年ぶりV奪回を目指す第2シードの東京成徳と昨日、岡豊との接戦を制した佐賀清和との対戦。今大会スタメン平均身長ナンバーワンの東京成徳に対し、第1P出だしから佐賀清和＃12原、＃13執行が東京成徳＃4間宮、＃7篠原らセンター陣を徹底的にマークし、インサイドへのパスを阻止。しかし、東京成徳の高さの前に得点することができず、13対34で第1P終了。

第2P、東京成徳は速い展開からの攻撃でセンター陣をうまく生かしつつ、3Pを含む全員得点で佐賀清和を寄せつけず26対57で第2P終了。

第3P、東京成徳は出だしから本来のスピードあふれるプレイやセンター＃4間宮の活躍で圧倒的な強さを見せる。佐賀清和も必死にくらいつこうとするが、勢いに乗った東京成徳の前に8得点にとどまった。

第4P、佐賀清和はディフェンスからリズムをつかみ、互角の戦いとなるが、第3Pまで得点を重ねた東京成徳が53対97で圧勝した。

主審	田之口 晃士	副審	田中 美寿紀	戦評	高橋 綾乃 (埼玉県高体連)

3P：スリーポイントシュート、2P：2ポイントシュート、FT：フリースロー、OF：オフェンス、DF：ディフェンス、TO：ターンオーバー、ST：スティール、AS：アシスト、BS：ブロックショット